

令和5年度 第1回 伊勢市障害者施策推進協議会（自立支援部会） 結果概要

開催日時	令和5年6月8日（木曜）18時30分～21時00分
開催場所	伊勢市役所東館4-3会議室
出席委員	青木 哲也 委員、浦田 宗昭 委員、岡田 まり 委員、川口 幸生 委員 竹澤 尚美 委員、中村 和人 委員、山本 明伸 委員、森 夏代 委員 中村 智士 委員、金子 直由 委員、光山 隆善 委員、徳田 真宏 委員
欠席委員	工藤 壮登 委員
事務局	高齢・障がい福祉課障がい福祉係長、職員1名 基幹相談支援センター職員2名、 こども発達支援室 副参事 地域相談支援センター 各センター長3名
傍聴者	2名

あいさつ

出席された委員及び事務局から自己紹介

1 施策推進協議会の報告

事務局より、令和5年5月11日に行われた施策推進協議会について報告

- ・伊勢市施策推進協議会の新たな体制の説明。手引きに沿って目的を共有
- ・今年度は障害福祉計画の策定年になっていることを共有・自立支援部会の委員から重点テーマのテーマ担当者を選定し、テーマごとに精通した関係者を招集してもらうようにした
- ・障がい者差別の件数及び障害者虐待の防止について共有
- ・令和4年度の自立支援部会の活動について以下を確認した
- ・人材確保・養成チーム、就労支援チーム、医療的ケア児者チーム、相談支援ネットワークグループ、サービス事業所等連携会議についての活動内容
- ・地域生活支援拠点等の整備について、先進地を学ぶ連携会議を開いたり、モデルケースの取組を通じて、課題の整理について共有
- ・委託相談支援センター、基幹相談支援センターについて、自己評価や他者評価、役割の明確化、3層構造の連携深化への取り組みなど
- ・伊勢市の虐待対応マニュアルの更新についての協議
- ・ビジネスパーク伊勢へ講師参加を行ったこと、および今年度も参加していくこと

部会長の選出

→委員の互選により、山本明伸委員が自立支援部会長に選出される。

2 令和5年度自立支援部会重点テーマについて

- 人材確保・養成、就労支援、医療的ケア児者支援、こども、地域生活支援拠点を令和5年度は重点テーマとして挙げる
 - 今年度からはテーマリーダー等を自立支援部会委員から確定し、残りのテーマ員については、適宜必要に応じて招集することとする
 - 各重点テーマ員について ※◎はリーダー
 - ・人材確保・養成 ◎森 委員、光山 委員
 - ・就労支援 ◎浦田 委員、中村 智士 委員
 - ・医療的ケア児者支援 ◎岡田 委員、青木 委員
 - ・こども ◎金子 委員
 - ・地域生活支援拠点 ◎山本 委員、竹澤 委員、工藤 委員、徳田 委員
- ※川口 委員及び中村 和人 委員については必要に応じて参加いただく。

3 今年度のスケジュールについて

事務局より、自立支援部会の今年度のスケジュール等について説明。

- 第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定に関してこの部会において、意見等を出し合い、施策推進協議会へと意見を挙げていくことを今年度の前半行う
- 後半については、重点テーマを中心に障がい福祉の推進となるような活動をしていただきたい

各テーマリーダーより前年度の活動報告及び今年度の計画について

人材確保・養成

- ・人材の慢性的な不足、人材の教育・養成、障害福祉の仕事の魅力の発信、取組の検討、ビジネスパーク伊勢の取組
- ・絶対数のヘルパーの数が足りていない。前年度から取組んでいるが、難しいのが現状
- ・ヘルパーの資格取得の推進を引き続き取り組んでいきたい

就労支援

- ・障がいのある方の就労支援について3つのステージに分けて課題抽出をして検討してきた。その中で、中高生の就労支援について、相談先がわかるようなリーフレットを作成している

医療的ケア児者支援

- ・喀痰吸引3号研修の市内実施を予算確保して、年2回行えるように調整している
- ・医療的ケア児者の緊急時の対応については、予算要望をかけている

- ・医療的ケア児の子育てハンドブック作成についても同上
- ・災害時の避難時の備蓄等の確認について、みえる輪ネットと共同で避難訓練等を想定している
- ・日常生活用具の再利用について、利用者の安全を考慮して再検討している

こども

- ・保育所、幼稚園、小中学校といった市全体の取組として、活動していく必要があると考える
- ・子どもにとって良い連携を今後も、推進していきたい。また、それによって現場に反映されているのか再検討し、深みのある連携にしていきたい

地域生活支援拠点

- ・具体的に拠点を動かし、活用していく中で課題が見えてくると思うので、検討提案をしていく
- ・緊急時の仕組み以外にも地域生活にチャレンジする人のための地域移行についても検討していければと思う

(委員からの意見)

- ・ヘルパーの不足だけでなく、計画相談員の人材不足も顕著になってきているので、計画相談員の人材充実についても検討してほしい
- ・テーマごとに検討するメンバーを編成していくという認識でよかったか？
→その認識で問題ない
- ・メンバーについてはテーマリーダーが招集したらいいのか？
→事務局に言って頂ければ、事務局から招集する
- ・テーマごとに課題を並行して進めていっていいのか？
→予算編成のこともあるので、同時進行してもらえればと思う
- ・医療的ケア児のことについて、第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画には詳細については載せてもらっていないが、なにか載せる基準とかはあるのか？
→今回の次期計画策定にあたり、部会で集約して来年度からの計画の重点取組の箇所に反映されてくるので、ニーズ等を吸い上げてほしい
- ・計画の中から予算が下りてくるのか？
→自立支援部会で協議してもらい、必要に応じ、予算についても検討していく
- ・子どもという分類の中に医療的ケア児も含まれていると思うが、分類分けをしたほうがいいのか？それとも共同で協議したらよいか？
→柔軟にメンバーを決めていただければと思う

4 計画策定構成（案）

事務局より、資料に基づき以下のことを事務局から説明。

(1) 第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画の策定指針

(2) ニーズ調査項目

○確定次第、市民へ発送する予定

○国の資料から伊勢市としての計画策定を考えているので、協議していただきたい
(委員からの意見)

・アンケートの2,000人の抽出方法はどのような感じか？

→手帳をお持ちの方などから無作為抽出をしてアンケート対象とする

・福祉につながっていない人に対してもアンケートを聞くのは難しいのか？

→手帳は持っているが、サービスを使っていない人にも送付する

・テーマ別の会議については、計画策定を目標にして行うべきなのか、ゼロから考えればいいのか？

→どこまで検討するかについては部会で決めていただきたい。議題のメインは計画にそった内容をしてほしい

・各サービス、専門用語について、用語説明等があると理解度も上がるのではないか
→意見として検討し、より良いものにしていきたい

・自由記載の欄があったと思うが、意見があれば部会等に共有してほしい

→意見等があれば共有する

・こどものテーマの中で医療的ケア児と重複する部分があると思うが、医療的ケア児とは分けて議論等していけばいいのか？

→議題に応じてテーマにこだわらず柔軟に対応していただきたい。悩む部分については、各テーマのリーダー及び事務局に相談してほしい

○ヒアリングの部分については、意見等あれば、明日中に連絡をしていただき対応する

5 その他

事務局より以下の3点について報告

(1) 伊勢市における基幹相談支援体制の評価及び今後の相談支援体制について

(2) 伊勢市虐待防止マニュアルの更新及び虐待対応から見える地域課題の解決及び虐待防止について

(3) 令和5年度ビジネスパークについて

○参加できる日を基幹相談支援センターまで連絡してもらおう

○ビジネスパークでは、事業所のPRではなく、福祉の仕事の経験談や仕事の魅力を知ることによって選択肢が増え、福祉の仕事への関心が高まる等の目的のため、この事業を行っていることを説明

○今すぐに人材を確保するというわけではないが、将来的な選択肢のひとつに福祉の仕事が入ればいいのかということで参画している

○自立支援部会でビジネスパークに参画し始めた経緯を説明